

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

1月11日(水曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

明日のビックイベント待ち？

10日(火)の主な推移



期間：10日(火)午前7時～11日(水)午前6時30分
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 上海株を始めアジア株が堅調に推移した他、時間外の原油先物相場が一時 102 ドル台に乗せた事を背景に、豪ドル/円は一時 79.26 円まで上昇。ユーロも堅調に推移した。
- ② 17 時過ぎに「アイルランドは約 300 億ユーロの追加支援が必要」との出所不明の噂が広がったことをきっかけに、ユーロ/ドルは 1.2743ドル、ユーロ/円は 97.97 円まで急落。ただその後、格付け会社フィッチのパーカー氏の「独の『AAA』格は安全」「2012 年の仏の格下げは予想しない」などの発言をきっかけに、ユーロは買い戻しが優勢となった。
- ③ 欧州株の上昇を背景にリスク回避の動きが和らぐと、ユーロ/ドルは 1.2817ドル、ユーロ/円は 98.45 円、豪ドル/円は 79.49 円まで、それぞれ上昇した。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・欧州重債務国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・欧州重債務国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)
- ・本邦当局の円売り介入観測(ユーロ/円上昇要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利下げ観測の後退(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・本邦当局の円売り介入観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀の追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪中銀の利下げ観測(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2660-1.2830ドル
 ユーロ/円: 97.20-99.40円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 78.60-80.10円

昨日、ユーロ/ドルは一時 1.28 ドル台に上昇する場面が見られたものの、売り意欲の強さに押され 1.28ドル台での滞在時間は長くはなかった。また、格付け会社フィッチの担当者はイタリアの格下げの可能性は高いとの見方を示したが、市場の反応は限定的となった。本日は明日の欧州中銀(ECB)理事会やイタリアやスペインの国債入札を前に、手控えムードが広がっていると考えられる。このため、ユーロ/ドルは直近の高安が位置する 1.26 ドル台半ばから 1.28 ドル台前半でのレンジ取引となりそうだ。(川畑)

昨日は陽線引けとなったことで、チャート上では三川明けの明星が出現。目先は底入れの可能性があり、本日は 79.69 円(1月4日高値)を視野に入れた動きとなる可能性がある。この辺りは年初の上昇局面で上値を抑えたレベルにつき、突破には抵抗が予想されるものの、超えられれば 80.11 円(昨年 12 月 8 日高値)に向けた上伸も見込まれる。一方、下げたとしても、20 日移動平均線(本稿執筆時点では 78.66 円)が再び上向きで推移しており、78 円台後半では底堅い推移が予想される。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/11(水)	17:00	○	(独) 2011 年 GDP [前年比]	+3.6%	+3.0%
	19:15	○	(独) 5 年債入札	—	—
	27:00		(米) 10 年債入札(210 億ドル)	—	—
	28:00	○	(米) 米地区連銀経済報告(ページブック)	—	—
	—	○	独伊首脳会談	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com